

第 14 回教育委員会会議録

日 時	平成 27 年 11 月 27 日 開会 13 : 30～閉会 16 : 10
会 場	教育長室
出 席 者	山 田 律 子 委員長 佐々木 義 朗 委員 荒 井 由紀恵 委員 明 石 光 正 委員 宮 崎 肇 教育長
参 与	島 倉 弘 行 教育部長 澤 田 徹 教育部次長 西 野 典 男 教育部次長 (学校指導担当) 荒 川 裕 昭 企画総務課長 安 榮 智 裕 主幹 (学校指導担当) 山 根 祥 二 青少年課長 竹 内 浩 二 生涯学習課長 村 井 安 之 文化施設課長
書 記	堀田 企画総務課総務係長
議 題 及 び 議 事 の 概 要	別紙のとおり

議題及び会議の概要

委員長	ただ今から、平成 27 年第 14 回教育委員会会議を開催いたします。 会議録の承認についてお願いします。
総務係長	前回、10 月 21 日に開催されました第 13 回教育委員会会議は議案が 3 件、議案第 1 号千歳市社会教育委員の委嘱について、議案第 2 号千歳市公民館運営審議会委員の委嘱について、議案第 3 号平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果の公表について、何れも原案のとおりご決定いただいております。また、報告は 2 件、報告第 1 号平成 27 年度ハイパー Q U 検査の分析結果について、報告第 2 号千歳市立図書館における雑誌スポンサー制度の導入について、以上 2 件でございました。
委員長	会議録承認の件よろしいですか。 一同了承
教育長	それでは、教育長からの報告をお願いいたします。 11 月の定例校長会でお話しした内容ですが、1 点目は、管内コンプライアンス確立に向けた重点取組の徹底についてということで、教職員の不祥事を防止するため、管内コンプライアンス確立会議というのが石狩管内で設置されているのですが、今年度の重点目標として、体罰の根絶、速度違反の未然防止、個人情報管理の適切な管理の 3 つが定められておりまして、各学校において重点的に取り組むべき事項として既に新年度に通知しているところですが、当市においては今年度 19 件の交通事故・違反が発生しており、7 月以降は速度違反が目立っている状況です。また、昨年同様に軽微な物損事故も多く発生しておりますが、場合によっては大きな事故につながる恐れがあることから、各学校においては、研修等の具体的な取り組みを実施するなど、改めて指導の徹底を図るようお願いしました。 2 点目は、平成 28 年度管理職の当初人事ということで、校長の定年退職が 25 名、新設校が 1 校、行政転出が 2 名、他管転出が 7 名、校長名簿に登録されているが直ぐに校長にならない登録残が 4 名です。減要素としては、他管転入が 6 名、行政転入が 4 名、統廃合が 4 名、登録残が 6 名ということで、差し引きでは、管内採用が 8 名、他管転出が 7 名、登録残が 4 名という状況です。教頭については、校長採用が 8 名、H27 校長登録残が 6 名、新設が 1 名、他管校長採用が 7 名、他管昇任が 8 名、H28 登録残が 3 名、減要素としては、他管転入が 7 名、定数減が 1 名、統廃合等が 4 名、登録残が 3 名ということで、差

	<p>引では、管内昇任が7名、他管昇任が8名、登録残が3名という状況です。</p> <p>私からは以上です。</p>
委員長	<p>教育長からの報告についてご質問等ございませんか。</p> <p>それでは、第1号議案の平成27年千歳市議会第4回定例会教育行政報告について事務局から説明をお願いいたします。</p>
企画総務課長	<p>議案第1号、平成27年千歳市議会第4回定例会教育行政報告についてご説明いたします。提案理由であります、平成27年千歳市議会第4回定例会に、教育行政の諸般について報告するため、本案を提出するものであります。</p> <p>～読み上げ～</p> <p>以上ご提案申し上げます。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。</p>
委員長	<p>議案第1号についてご質問やご意見などございませんか。</p>
明石委員	<p>ユネスコの英語暗唱コンテストで高校生の参加が少ないのですね。</p>
部長	<p>高校は、別のコンテストの機会があることや日程的にも厳しいという事情があります。</p>
委員長	<p>その他よろしいですか。12月1日から開催される市議会での教育行政報告ということでございます。</p> <p>一同了承（原案可決）</p>
委員長	<p>次に、第2号議案の指定管理者の指定について事務局から説明をお願いいたします。</p>
文化施設課長	<p>議案第2号、指定管理者の指定についてご説明申し上げます。提案理由であります、千歳市立千歳公民館の指定管理者を指定するため、本案を提出するものであります。</p> <p>管理を行わせる公の施設の名称は、千歳市立千歳公民館。位置は、千歳市真町176番地の3。管理を行わせる期間は、平成28年4月1日から平成33年3月31日まで。指定管理者となる団体は、千歳市本町3丁目11番地、公益社団法人千歳市シルバー人材センター理事長本</p>

	<p>宮輝久様であります。</p> <p>以上が内容であります。次に今回選定に至った経過の概略についてご説明いたします。現在の公民館の指定管理者の制度の導入状況ですが、第1期目が平成20年度から22年度、第2期が平成23年度から27年度であり、1・2期目とも相手方は公益社団法人千歳市シルバー人材センターであります。</p> <p>選定経過として、本年5月に指定管理者公募の告示をし、説明会を開催、応募受付期間は約2か月間の7月31日までとしております。この間に2社から応募がありまして、9月に第1回目の選定委員会を10月に第2回目を開催し、選定結果の報告と候補者選定をしております。その後11月に仮協定書を締結しております。</p> <p>次に選定概要ですが、提出された申請書類等及び応募団体プレゼンテーションの内容に基づき評価を行った結果、最も高い評価の2300点を得点した公益社団法人千歳市シルバー人材センターを指定管理者の候補者として選定したものです。全体講評は、当施設の指定管理者としての実績を有し、モニタリング結果でも良好な評価を受けていることや利用者も増加傾向にあり、事業実績と業務遂行能力は十分である。事業運営に関しては、これまでの計画に加え、新たな事業展開にも意欲を見せており、幅広い世代を対象としたより魅力ある企画に期待する。また、収支計画において、独自にLED化と館内土足化に向けた修繕費を計上しており、経済性の効果と市民利用の向上策として評価できる。という内容でした。</p> <p>今後の手続きとしましては、12月の市議会におきまして指定管理者の議決を受けた後、12月中に本協定の締結を行う予定です。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
委員長	議案第2号についてご質問やご意見などございませんか。
佐々木委員	前回の応募は何社だったのですか。
文化施設課長	3社です。
委員長	その他ございませんか。
	一同了承（原案可決）
委員長	次に、報告第1号の平成27年度補正予算について事務局から説明をお願いいたします。

<p>企画総務課長</p>	<p>報告第1号、平成27年度補正予算について説明いたします。</p> <p>今回の補正予算につきましては3件を予定しており、平成27年第4回定例市議会に提案することとしております。</p> <p>1件目は、寄付金（奨学基金）を補正するものであります。内訳といたしまして、平成27年8月20日から11月10日までであります、23件の寄付採納額、1,540,814円を歳入、寄付金及び歳出、積立金に追加するものであります。なお、基金残高の状況につきましては、補正後の基金残高は70,184,098円となります。</p> <p>2件目は、小学校非構造部材耐震化事業費及び中学校非構造部材耐震化事業費の補正であります。補正額は、小学校で93,965千円、中学校で30,220千円であります。補正理由につきましては、記載のとおりであります。平成27年度をもって学校耐震化を含む全国防災事業が終了することに伴い、学校施設の非構造部材の耐震化対策に係る事業の来年度以降の地方負担が増加する見込みとなっております。これを受けまして、文部科学省から事業の前倒し実施についての通知があり、今年度実施設計を行い、事業費の算定が可能となる来年度施工予定の小学校4校及び中学校2校に係る事業前倒しの変更承認申請を行い、その決定を受けたことから、補正を行うものであります。なお、工期等の関係を考慮し、平成28年度への繰越明許費とするものでございます。次に、当該事業に係る歳入の補正であります。当該事業は国の補助対象であり、補助対象となる三分の一に相当する43,249千円を教育費国庫補助金に補正し、残る三分の二相当額80,900千円につきましては、起債を充当することから、教育債を補正するものであります。</p> <p>3件目につきましては、文化施設課から報告いたします。</p>
<p>文化施設課長</p>	<p>小中学校司書配置事業費の債務負担行為の追加についてご報告申し上げます。現在、小中学校の司書配置事業につきましては、市立図書館の指定管理者に随意契約しております。この配置事業は平成25年度から実施しており、25年度は週単位で2名の司書を各学校に派遣しております。26年度からは司書を6名に増員して月単位で各学校に配置して、学校図書館の運営を支援しているところであります。現状の委託業務につきましては、小学校に対し司書の配置人数と日数を均等に配分している状況ですが、委託業務を進める中でそれぞれの小中学校で学校運営に関するひらきがございまして、また、短期的な課題としましては、分類配置がされていないですとか除籍などが進んでいないという課題がでてきたところです。今後これらの課題解決に向け</p>

	<p>て、専門性の高い企画やアイデアをもとに司書の配置人数や時間などを各学校の実情にあった配置をしていかなければならないと考えておまして、これらを実施するためには随意契約ではなく、広く全国的に業務を実施しているような学校図書館の運営に実績のある事業者を広く募集することによって、よりよい学校図書館を運営しているということ、平成 28 年度の委託業者はプロポーザル方式により選定する予定としております。4 月中に学校司書を配置するためには、選定事務等に要する期間が 3 か月程度必要であることや、学校司書の人材確保等、事業の実施準備を年度内に行うためには、平成 27 年度内の契約行為が必要となることから、平成 28 年度債務負担行為限度額を追加して実施しようとするものであります。期間は平成 28 年度、限度額は 18,390 千円であります。</p> <p>説明は以上であります。</p>
委員長	報告第 1 号についてご質問等ございませんか。
委員長	教育債についてもう少しご説明願います。
教育長	簡単に申しますと借金ということです。
委員長	司書配置についてですが、学校によってそれぞれの事情があると思いますが、その事情にあった配置になるということですか。
文化施設課長	そのための提案をいただくというのがプロポーザルの趣旨でございます。
教育部長	今は市立図書館の指定管理者に委託しているのですが、図書館が学校図書館のノウハウを持っているかということ、なかなか学校図書館の実情を把握しきれていないということがありますことから、全国レベルで学校図書館の運営をおこなっている民間企業がありますので、運営について提案をいただこうというものです。
荒井委員	P T A 活動や図書ボランティア活動を通じて感じていることなのですが、司書さんはすごく協力的で、司書さんが来てくださってからはボランティアの手薄なところを助けていただき、図書館自体も明るくなった気がします。子どもたちにもいろいろな本を勧めてくださるので学校としては大変にプラスになっていると思います。

委員長	<p>その他ございませんか。</p> <p>報告第1号（報告済）</p>
委員長	<p>次に、報告第2号の千歳科学技術大学学生によるボランティア学習サポートの実施について事務局から説明をお願いいたします。</p>
主幹（学校指導担当）	<p>報告第2号千歳科学技術大学学生によるボランティア学習サポートの実施についてご報告申し上げます。</p> <p>本事業は、千歳科学技術大学の学生ボランティアを活用し、小中学校における休日や長期休業中等の学習支援体制を構築するとともに、きめ細かい指導により個々の児童生徒のつまずきの解消や学習意欲の向上、学習習慣の形成など、学力向上に資することを目的に実施します。実施日は、冬季休業中の12月25日と28日、1月4日から8日までの7日間です。実施校は、小学校12校と中学校4校です。科学技術大学の学生は教職課程を履修している1から4年生で現在のところ56名の予定です。現在、大学、学校と調整中ではありますが、大学には各学校の希望にご配慮いただくかたちで実施いただくこととしております。</p> <p>以上でございます。</p>
委員長	<p>参加する生徒は希望した生徒ですか。</p>
主幹（学校指導担当）	<p>そうです。</p>
委員長	<p>他にご質問等ございませんか。よろしいですか。</p> <p>報告第2号（報告済）</p>
委員長	<p>次に、報告第3号の平成27年度千歳市いじめアンケート調査結果について事務局から説明をお願いいたします。</p>
青少年課長	<p>報告第3号平成27年度千歳市いじめアンケート調査結果についてご報告申し上げます。</p> <p>本調査につきましては年に4回実施しておりまして、北海道が5月と11月に、市の独自調査が8月と2月です。今回の結果は8月の調査結果です。小中学校の児童生徒全員にアンケートの形式で調査を実施しております。結果ですが、4月からいじめがされたか。どんない</p>

	<p>じめをされていきましたか。今でもいじめられている。友達がいじめられているのを見たこと聞いたことがある。携帯電話や通信ができるゲーム機を持っている。ネットトラブルで困ったことがある。の6項目についてアンケートを実施したものです。</p> <p>速報値は児童生徒が答えた数字であり、確定は回答があった児童生徒に対しまして担当教員が直接面談して共通理解のもとで確かめた結果、いじめと認められたというものが確定です。</p> <p>小学校の結果では、4月からいじめがされたかでは、1年から6年の合計の確定値が11件。どないじめをされていきましたかでは、仲間はずれと無視が3件、たたいたりされるが3件、いやがらせが4件、悪口が11件、嫌なメールは0件、その他が5件、合計が26件です。今でもいじめられているでは、調査時点ではありますが、あるが9件、なくなったが2件です。友達がいじめられているのを見たこと聞いたことがあるでは、あるが41件です。これらに対しての対応ですが、加害児童の指導と被害児童のケアを実施しているところであり、</p> <p>中学校の結果では、4月からいじめがされたかでは、1年から3年の合計の確定値が4件。どないじめをされていきましたかでは、たたいたりされるが1件、悪口が3件、合計が4件です。今でもいじめられているでは、なくなったが4件です。友達がいじめられているのを見たこと聞いたことがあるでは、あるが11件です。これらに対しての対応ですが、加害児童の指導と被害児童のケアを実施しているところであり、被害児童に現在の状況を確認したところいじめはないとのことであり、</p> <p>アンケートの結果、いじめがあったという児童生徒と直接面談をした結果、児童生徒の共通理解のもと、この件についてはいじめではないと確認した件数が小学校では364件、中学校で20件ございました。</p> <p>結果は以上であります、11月に北海道が実施した結果につきましては集計中でありまして、いじめに関しては引き続き注視してまいりたいと考えており、未然防止と早期発見に努めてまいります。</p>
委員長	<p>先生方が解決に向けて中に入ってくれるということ子どもたちが感じて生活しているだけでも気持ちがちがうと思います。</p> <p>確実に対応してくださっているということであり、</p>
教育部長	<p>今でもいじめられているのが小学校で9件ありますが、両者または保護者を交えて解決済みであれば良いのですが、まだ解決していない案件については、教育委員会から学校に頻りに経過報告を求め、追跡をして確認していくということで、調査を実施して終わりということ</p>

	<p>では決してなく、継続的に徹底して学校から情報を得、教育委員会としても力を入れて確認をしていくということと、数字には出てこない埋もれているものもあるかも知れないということに注意をし、担当としてもアンケートを分析し気になることについては更に学校へ現状を確認するなど、徹底してまいりたいと考えております。</p>
委員長	<p>ご質問等ございますか。</p>
荒井委員	<p>このアンケートは100パーセントの児童生徒が回答しているのですか。</p>
青少年課長	<p>100パーセントです。全員を対象としています。</p>
明石委員	<p>北海道の調査結果は市でも見ているのですか。</p>
教育部長	<p>もちろん見えています。</p>
教育長	<p>北海道と市で合計年4回の調査を実施していますので、いじめがあったという案件ごとにそれぞれの調査時点で解決したのかあるいは対応中なのかという分析もしっかりしていきたいと思えます。</p>
委員長	<p>その他よろしいですか。</p> <p>報告第3号（報告済）</p>
委員長	<p>次に、報告第4号の平成27年度千歳市・指宿市青少年相互交流事業について事務局から説明をお願いいたします。</p>
生涯学習課長	<p>報告第4号平成27年度（第21回）千歳市・指宿市青少年相互交流事業（受入）についてご報告申し上げます。</p> <p>事業概要ですが、平成6年の鹿児島県指宿市との姉妹都市提携を契機に、両市の未来ある子どもたちの交流をとおして友好関係がより発展するよう、平成7年度から相互交流を実施しており、今回で21回目となります。今年度は、夏季交流として8月6日から9日までの4日間、市内の小学6年生15名が指宿市を訪問しました。冬季交流では、指宿市の子どもたちが来千し、千歳の子どもたちと一緒にホームステイ交流や初めてのスキー、休暇村支笏湖での合同宿泊などを行い、冬の北海道を存分に体験してもらいます。受入期間は、平成27</p>

<p>委員長</p>	<p>年 12 月 25 日から 28 日までの 4 日間です。参加者は、指宿市児童小学 6 年生 16 名と引率 3 名の合計 19 名です。千歳市児童は、小学 6 年生 16 名と引率 3 名の合計 19 名です。主な交流内容は、歓迎式、ホストファミリーとの交流、スキー体験、雪中体験、温泉体験、全体交流会、サケのふるさと千歳水族館見学、お別れ式などです。実施主体は、千歳市・指宿市青少年相互交流事業実行委員会です。</p> <p>以上でございます。</p> <p>報告第 4 号についてよろしいですか。</p> <p>報告第 4 号（報告済）</p>
<p>委員長</p>	<p>次に、報告第 5 号の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施結果について事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>企画総務課長</p>	<p>報告第 5 号、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施結果についてご報告いたします。平成 27 年度千歳市教育委員会における事務の点検・評価についてご報告申し上げます。根拠法令といたしましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項及び第 2 項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施結果について報告するものであります。点検・評価の方法は、千歳市が既に実施している事務事業評価及び外部評価である市民行政アセスを活用し、千歳市教育委員会における事務の点検・評価を実施しております。事務事業評価の結果であります。平成 27 年度は、41 の事務事業について評価を実施しております。現状のまま継続が 34 事務事業、見直して継続が 7 事務事業でありました。次に、外部評価である市民行政アセスにつきましては、平成 27 年度は、家庭教育の充実、文化財の保護と保存、教育機会の拡充の 3 施策について評価を実施しました。1 点目の家庭教育の充実につきましては、市民評価会議からの意見といたしまして、子育ては親だけで行うものではなく、地域で行うことが大切であるため、家庭・学校・地域が連携した事業の展開が求められる等の意見をいただいております。2 点目の文化財の保護と保存につきましては、発掘した出土品等を観光・教育の素材として活用する方法について検討してはどうか等の意見をいただいております。3 点目の教育機会の拡充につきましては、奨学金給付希望者の増加に対応して給付枠を広げるなど、</p>

<p>委員長</p>	<p>状況の変化に柔軟に対応していることは評価できる等の意見をいただいております、評価結果といたしましては拡充すべきとの結果をいただいております。</p> <p>来年度におきましても自己評価である事務事業評価と外部評価である市民行政アセスの二つの手法によりまして改善見直しにつなげていきたいと考えております。</p> <p>なお、各事務事業の評価結果及び市民行政アセスの結果につきましては、資料に掲載しております。</p> <p>説明は以上でございます。</p> <p>評価を外部から、あるいは、内部からも実施しているということでもあります。</p> <p>報告第5号についてご質問等ございますか。</p> <p>委員におかれては、折に触れて、事業の評価がどのようになっているのかということをお話にしていただけたらと思います。</p> <p>報告第5号（報告済）</p>
<p>委員長</p>	<p>次に、報告第6号の平成28年度千歳市教育予算要望について事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>企画総務課長</p>	<p>報告第6号平成28年度千歳市教育予算要望についてご報告いたします。この要望書につきましては、11月9日に千歳市教育予算要望特別委員会から教育委員会及び市長に直接手渡されたものであります。要望事項の10項目についてご説明いたします。</p> <p>1点目は、文教施設・設備の整備充実についてですが、主に校舎及び附属施設の改修修繕について、緊急性や使用頻度の高いものから順次整備していただきたいという内容であります。また、保健室の足洗い兼シャワー設備の設置について計画的な改善をお願いしたいという内容でありました。</p> <p>2点目は、ICT機器の整備充実についてであります。平成25年度から2か年で普通教室に整備した電子黒板などのICT機器について、特別教室と少人数指導教室に整備するとともに、今年度小学校に整備したデジタル教科書を中学校にも整備し、さらに教室でインターネットが利用できるよう校内無線LANの整備とタブレット端末の整備をしていただきたいという内容であります。</p> <p>3点目は、学校運営予算についてであります。児童生徒にとってより良い学習環境の整備を図るため、日常の学校配当予算の充実を求</p>

めますということで、学力向上関連事業に関する要望、ハイパーQ U 検査実施学年の拡充に関する要望、需用費に関する要望、特別教室用机・椅子の更新・整備に関する要望、高額備品に関する要望、保護者負担軽減に関する要望がございました。

4点目は、学習支援員の拡充についてであります。子どもたちの学力の向上は、自らの目標に向かって自立して生きていくために、大変重要であり、平成26年度から小学校に配置された学習支援員は、児童のつまづきの解消など、多くの成果が表れており、新たに中学校への配置など拡充をしていただきたいという内容でありました。

5点目は、特色ある教育活動の推進についてですが、平成9年度から行っておりますグローバルスクール活動に代わり、平成26年度からアクティブスクール事業へと発展的に引き継がれており、事業等に必要な助成をお願いしたいという内容であります。

6点目は、学習指導要領改訂に対応した教育課程の実現についてですが、小学校の外国語教育導入における予算の充実と、中学校の武道やダンスの必須化による予算の充実をお願いしたいとの内容であります。

7点目は、児童生徒の文化的・体育的な活動及び特別支援教育の助成・予算化ですが、スクールバンドや吹奏楽部、リコーダー部が地域の諸行事に積極的に参加して高く評価されており、また、文化や体育活動についても児童生徒が積極的に活動を行っていることから、これらに要する交通費の拡充や使用範囲の拡大等について助成をお願いしたい。また、平成20年度から、特別支援学級設置校において特別支援教育支援員の配置をしており、大きな効果を上げていることから、今後もさらに配置を拡充していただきたいとの要望内容であります。

8点目は、新規要望として、新給食センターの建設についてありますが、成長期にある児童生徒の健全な発育や食に関する指導の充実のために、給食センターの施設面での様々な課題を解消し、多様な献立をおいしく安全に提供するとともに、さらに、食物アレルギー除去食への対応のためにも、新たな学校給食センターを建設していただきたいという内容でありました。

9点目は、教職員の研修活動及び教育関係機関の助成ですが、教職員の研修がいつそう深まりますよう、千歳市教育振興会への助成、校長会・教頭会への助成の継続、千歳市PTA連合会につきましては、より充実した教育環境と教育条件の整備にむけて取り組んでおり、活動に対する助成ならびに、教育条件整備の充実について要望されております。

<p>委員長</p>	<p>10点目の教職員の福利厚生等についてですが、各校教職員の人間ドック、健康診断の実施などの福利厚生や教職員住宅の計画的整備などについて要望が出されております。</p> <p>以上10項目の要望でございますが、教育委員会といたしましては、これらの要望を受けまして、教育環境の改善に向けた予算化に向けて取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>以上であります。</p> <p>予算要望委員会として、学校の校長会や教頭会などいわゆる学校側から市に対して出された要望ということですが、学校がどのようなことを望んでいるのかということが見えてまいりますので、委員におかれては、先ほどと同様、折に触れて、話題にさせていただけたらと思います。</p> <p>報告第6号（報告済）</p>
<p>委員長</p>	<p>次に、報告第7号の平成28年度教育予算要求状況について事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>教育部長</p>	<p>報告第7号平成28年度教育予算要求状況について説明いたします。</p> <p>新規と拡充を中心に説明してまいります。あくまでも予算要求中のものということでもあります。</p> <p>はじめに、小中学校運営管理業務経費のうち学校の電話回線が不足しているということがありまして、27年からの3カ年で15校の回線を増設する計画であります。開校記念事業補助金では、末広小60周年、駒里小110周年、日の出小50周年、泉沢小20周年を予定しております。ハイパーQ U検査は、現在年2回実施していますが、対象学年が小学校3から6年、中学校は1から2年なのですが、次年度は小学校と中学校ともに全学年に年2回実施したいと考えております。</p> <p>次に、中学校のデジタル教科書整備であります。教科書改訂に合わせ、国語、地理・歴史・公民、地図、数学、理科、英語のデジタル教科書を整備したいと考えております。</p> <p>次に、小中学校の少人数指導用教室と特別教室に電子黒板、実物投影機、ブルーレイレコーダーを整備ということで、昨年度までに普通教室への配備を完了したところですが、中学校は特に特別教室での授業、小学校では習熟度別少人数指導で機器を活用したいとの要望がありますことから、これを要求しているものです。</p> <p>次に、北海道の公立小中学校における校務の標準化を目指す北海道</p>

公立学校校務支援システムの導入及び運用経費ですが、平成 27 から千歳小、北進小中、信濃小、千歳中、勇舞中がモデル実践校として運用を開始しており、平成 28 年度からは残りの全小中学校にシステムを導入していきたいというものであります。

次に、教職員管理職住宅建替事業ですが、経年劣化した教職員管理職住宅の建替えを行うものですが、現在各校に 2 棟ある管理職住宅を今後は 1 棟にしていこうと考えております。28 年度の計画では、建替が向陽台小学校、取壊が向陽台小学校、緑小学校、北斗中学校です。

次に、学校の大規模改修事業ですが、信濃小学校、高台小学校、東小学校、青葉中学校、北斗中学校、放送設備改修は、東小学校、北陽小学校、千歳中学校を予定しております。

次に、特別支援教育事業費ですが、新規に医療的ケア事業の看護関係経費を要求しております。

次に、学校活動支援事業費です。外国人等就学日本語学習サポートの予算を要求しております。

次に、ミアーズ中学校交流事業費ですが、平成 27 年 5 月にミアーズ中学校生徒受入をし、来年度は平成 29 年 1 月にミアーズ中学校訪問する年なのですが、希望者の増加に伴い対象を増員したいと考えております。

次に、英語活動推進事業費ですが、新規に小学校全学年を対象とした外国語活動経費を要求しております。

次に、教職員健康診断事業費ですが、学校保健安全法に基づき、教職員を対象に定期健康診断などを実施するものですが、新規に教職員ストレスチェックの実施を予定しております。

次に、生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」支援事業費ですが、今年から会場をグリーンベルトに変更しておりますが、来年度も同様の場所で行いたいと考えております。

次に、生涯学習まちづくり推進講座開催事業費ですが、市民協働プロモーション事業として行っておりましたパソコン講習会について、市が行う事業としては成果を遂げたということで事業を終了する予定であります。

次に、青少年健全育成事業費ですが、イングリッシュキャンプ事業を 1 回から 2 回に拡大して実施したいと考えております。

次に、学校支援地域本部事業費ですが、現在の支援対象校 17 校から来年度は新たに向陽台中学校と東小学校の 2 校が支援対象校に加わります。

次に、放課後子ども教室推進事業費では、児童館未設置校の一つである緑小学校で放課後子ども教室を新たに開設したいというもので

	<p>あります。</p> <p>次に、文化財普及啓発事業費ですが、市内遺跡地図の制作、美々貝塚解説パンフレットの制作などを行う予定であります。</p> <p>次に、給食センター新築移転事業費ですが、給食センター新築移転に向けた調査研究費を要求するものであります。</p> <p>次に、図書館施設管理経費ですが、前回の会議で不明本の報告をしましたが、この対策のひとつとして、大きなバックを持ち込まないためのコインロッカーを設置したいと考えております。</p> <p>最後に小中学校司書配置事業ですが、先ほどの報告にありました学校司書配置についてプロポーザル方式による業者選定を行うものであります。</p> <p>以上、新規と拡充する事業を中心に説明しました。説明は以上であります。</p>
委員長	<p>先ほどの教育予算に関わる要望と照らし合わせましても、よく配慮されているというように感じます。</p> <p>ご意見ご質問などございますか。</p>
教育長	<p>給食センターの移転は、集中的に検討していかなければならないのですが、アレルギー対応食ひとつとっても、これをどこまでやるかによって、いろいろかわってきますので、相当時間を要するというふうに考えております。</p>
委員長	<p>支援員の非常勤化というのはどのようなことですか。</p>
教育長	<p>今まで臨時職員で各学校で処理していたのを教育委員会が一括で任用することとしたものであり、実態はわかりません。</p>
委員長	<p>報告第7号（報告済）</p> <p>その他ございませんか。これを持ちまして本日の会議を終了します。</p>